

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

- 選 イ 優勝おめでとうございます。
- 選 ありがとうございます。
- 選 イ 今のお気持ちを願います。
- 選 そうですねえ。優勝できてうれしいです。
- 選 イ 試合にはどんな気持ちで臨み^{のぞ}ましたか。
- 選 そうですねえ。絶対勝ちたいと思っていました。
- 選 イ 今後はどのように。
- 選 そうですねえ。二連覇^{れんぱ}目指してがんばるんで、応援よろしく願います。
- 選 イ がんばってください。お疲れ様でした。
- 選 ありがとうございます。

II インタビュアー

選 II 選手

ほとんど何も聞いていない、ほとんど何も答えていないインタビュアーだ。なごやかに言葉を交^かわしているのは確かだから、インタビュアーの内容は二の次で、選手の声^{こゑ}が聞きたい、選手の笑^え顔^{がほ}が見たいというファンには、これでよいということなのだろう。

常にプロのスポーツジャーナリストがインタビュアーするわけではないから、そうでないインタビュアーの場合、鋭^{すば}い質問はできない、難しいことは自分もわからない、ということもあるのだろうが、インタビュアーの中には、本当に試合を見たのかと疑^{うたが}いたくなるくらい、何も聞かない人がいる。そのスポーツのことも選手のこともよく知らずに、結果だけ聞いてその場に赴^{おもむ}いた素人^{しらひと}でも言えそうなことしか言わない人が、実際にいるのだ。

「素晴^{すば}らしいホームランでした。」

「ナイスゴールでした。」

「試合を振り返ってください。」

「これで一勝一敗一引き分けとなりましたが、三試合を総括^{そうかつ}してください。」

「ファンのみなさんに一言。」

「次の試合への抱負^{ほうふ}をお願いします。」

ここには、選手へのまともな問いが一つもない。試合を見ている最中に、この場面のこの動きについて選手に聞いてみたい、と思うことが何度もあったはずだ。それも、「あのときはどう思いましたか。」などという漠然^{ぼくぜん}とした質問ではなく、もっと具体的に問いを立てる。試合を見ながらインタビュアー自身が疑問に思ったことをぶつけるという形の質問は、禁じられているのだろうか。

右の例のようなインタビュアーの言葉は、選手に的確な質問をしてその答えを求めているのではなく、ほとんど丸ごと語らせようとしている。「ナイスゴールでした。」には「どうも。」とだけ言って知らん顔^{けんがん}をしてもよさそうなものだが、日本の選手たちは総じて性格がいいから、決定打となったシュートの経緯^{けいゐ}を丁寧^{ていねい}に説明してくれる。「それはどういう意味ですか。」「それって質問ですか。」などと聞き返す選手はまずいない。皆、優しいのだ。

しかし、これではインタビュアーは育たない。インタビュアーは優れたジャーナリストでなければならず、² ジャーナリストとは、言葉を使って真剣勝負^{しんけんしやうぶ}する人間だ。スポーツ選手は身体と頭脳と精神力で真剣勝負している。そのような選手たちの前に、言葉もあまり使わないで真剣勝負もしない者がインタビュアーとして登場するのは、選手たちに失礼ではないのか。

インタビュアーには、準備の時間が十分に与えられているはずだ。疲労^{ひろう}の極^{きわ}みであろうに、試合直後に愛想よく話をしなければならぬ選手たちとは違うのだ。サッカーの試合後のインタビュアーなら、準備のための時間は、少なくとも一時間半ある。しっかり準備をして臨むことができる。「試合を振り返ってください。」などと、アナウンサーや解説者の仕事を選手に押しつけてはいけない。そんなことをしては、インタビュアーとしての矜持^{きやうぢ}が台無しだ。³ 「あなたはあそこであのようなことをしたが、あれは作戦だったのか、それともその前の小さなミスをかバーするための苦肉の策だったのか。」というような質問があまりないのは、時間的制約のせいだ。勝利に水をさすようなコメントは避けたいということもあるう。皆、優しく、遠慮^{えんりょ}がちなのだ。相手を不愉快^{ふゆかい}にさせてはいけないと思っている。人としての優しさや遠慮はもちろん美德だが、このような場面ではどうなのか。少なくとも、真剣勝負にはならない。和気あいあいと終えるか、真剣に勝負するか。選手とインタビュアーの言葉の応酬^{おうしゅう}も、言ってみれば戦いだ。そして、真剣に勝負することが、インタビュアーに応じる選手と、インタビュアーを聞く観客への誠意と敬意の表れなのではないかと思う。

*注 矜持——プライド。

(野口恵子『バカ丁寧化する日本語』による)

問一 ―― 線部1「二の次」とありますが、この言葉のここでの意味を答えなさい。

問二 ―― 線部2「ジャーナリストとは、言葉を使って真剣勝負する人間だ」とありますが、そのようなジャーナリストがスポーツ選手に対してするべき質問とはどのような質問ですか。これより前の問題文中から四十字以内の適当な表現をぬき出し、始めと終わりの五字で答えなさい。

問三 ―― 線部3「アナウンサーや解説者の仕事を選手に押しつけてはいけない」とありますが、「アナウンサーや解説者の仕事を押しつけ」とはどうすることですか。問題文中の言葉を用いて、二十五字以内で答えなさい。

問四 ―― 線部A「ジャーナリスト」は、「新聞・雑誌・放送などの、編集者・記者など」のことを表しますが、このように、「〜スト」という形で、次の1〜5の意味になる外来語をそれぞれ答えなさい。最初の一字は、（ ）内に指示されたものとします。

- 1 芸術家（ア） 2 利己主義者（エ） 3 随筆家（エ）
- 4 その道でのすぐれた能力・技術の持ち主（ス） 5 夢見がちな人（ロ）

問五 ―― 線部B「水をさす」とありますが、「水」を使った表現にはいろいろなものがあります。次の1〜5の（ ）に適当な言葉を補って、文を完成させなさい。

- 1 優勝争いで、ライバルに大きく水を（ ）られてしまった。
- 2 演奏前の一瞬、場内は水を（ ）たように静まり返った。
- 3 犯人逮捕のため、水も（ ）ぬ厳戒体制がとられている。
- 4 昔のことは水に（ ）て、おたがいに協力することを約束した。
- 5 入団の意向があるのかどうか水を（ ）てみると、彼は話に飛びついてきた。

二 次の1〜4の文の――線部の「の」と、言葉の使い方の上で同じものをそれぞれ後のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- 1 今日のおやつは何だろうな。
- 2 その本は私のですよ。
- 3 顔色がわるいけど、どうしたの。
- 4 子どものよろこびさうなお土産を買ってきた。
- ア 採点用のペンは、赤い色を使ってください。
- イ きのは何時間勉強したの。
- ウ 山の上まであと一息だ。
- エ 天気の良い日は、気分も晴れやかだ。

三 次の1〜5には、「いらいら」「もじもじ」のように、「ABA B」とくり返してできた言葉が入ります。それぞれ最も適当なものを、後の「A」・「B」の字を組み合わせ、「ABAB」の形で答えなさい。「A」・「B」ともに、一度使った字を別の言葉に使ってはいけません。（例）で使った「も」と「じ」を使うこともありません。

（例）はじめは（ ）していた子どもたちも、すぐに仲良く遊びはじめた。 答え―もじもじ

- 1 負けて（ ）と引きあげる選手たちがあわれだった。
- 2 上司や先輩にも（ ）とものを言いすぎてきられる。
- 3 他人の目を気にして（ ）してもしかたがないよ。
- 4 間違え電話がくり返しかかってきて、（ ）した声をあげてしまった。
- 5 何不自由なく（ ）と育ってきたので、逆境に弱い。

- 〔A〕こ、し、ず、と、ぬ、**も**
- 〔B〕お、く、け、げ、**じ**、せ

四 次の1〜4の各組のa・b・cには、同じ読み方の二字熟語が入ります。それぞれ最も適当なものを答えなさい。読み方は後の「語群」から選びなさい。

- 1 a 裁判官は、常に（ ）でなければならない。
- b 彼は大きな仕事をして（ ）に名を残した。
- c 全体の（ ）を考えて文章を書くことが大切だ。
- 2 a 温暖な（ ）の土地。
- b 今回の旅行についての（ ）文を書く。
- c 新庁舎の（ ）式が行われる。
- 3 a 新しい機械を導入し、（ ）性の向上をはかる。
- b 降りるときに運賃を（ ）する。
- c 今度の試合に勝つ（ ）はありますか。
- 4 a ふるさとに（ ）する。
- b 試合を前に、選手たちの（ ）があがっている。
- c 大変な人出で、交通（ ）がかけられている。

〔語群〕 キコウ、キシヨウ、キセイ、コウセイ、セイサン

五 次の1〜5の二つの（ ）に、それぞれ反対の意味になる漢字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

（例） 答え 「同」と「異」を入れて、「同工異曲」

- 1 空（ ）絶（ ）
- 2 起（ ）回（ ）
- 3 （ ）耕（ ）読
- 4 （ ）船（ ）馬
- 5 （ ）往（ ）往

六 次の1～5の短歌の（ ）に入る季節（春・夏・秋・冬）として、最も適当なものをそれぞれ答えなさい。

- 1 （ ）きたる野の木野の草限りなく衰^{おとろ}うるものに美しさあり
窪田空穂
- 2 鳴く虫の気管の中に吸われゆく（ ）の空気をわが肺も吸う
中村規子
- 3 新治^{にいばり}の野にカッウの声響^{ひび}き青き衣^{ころも}の（ ）は来^きにけり
田中拓也
- 4 みかんむく指さえ意志を持ちおりてせつなきまでに（ ）静かなり
吉沢あけみ
- 5 枝の雪ちらし飛び去る目白^{めじろ}一羽かすかに覚^{おぼ}ゆ（ ）の気配を
吉田正俊

七 次の「条件」に従って、後の1～4の漢字のしりとりを完成させなさい。

3

〔条件〕

- (1) A・B・Cには、「各・閣・格」のように、同じ音読みで共通した部分を持つ字が入ります。
- (2) ①・②に入る字は、「①・②の選択肢」から選りなさい。

(例) A 社 ― 社内 ― 内 B ― B ① ― ① 会 ― 会 ② ― ② C ― C 別

〔①・②の選択肢〕 員・議・合・集・談・面

答え A 各 B 閣 C 格 ① 議 ② 合

- 1 重 A ― A ① ― ① 意 ― 意地 ― 地面 ― 面 B ― B ② ― ② 功 ― 功 C
- 〔①・②の選択肢〕 故・好・成・大・任・年
- 2 A 急 ― 急 ① ― ① B ― B 心 ― 心外 ― 外 ② ― ② C ― C 技
- 〔①・②の選択肢〕 気・見・行・追・野・用
- 3 A 国 ― 国外 ― 外 ① ― ① B ― B 長 ― 長短 ― 短気 ― 気絶 ― 絶無 ― 無 ② ― ② C ― C 気
- 〔①・②の選択肢〕 交・残・視・出・部・念

◎解答に字数制限のある場合、句読点などの記号も字数に数えます。

[illegible]